

世界に誇る、みかんのまち

全国初の自治体認定フルーツ「有田市認定みかん」。原産地呼称管理制度を創設して今年で16年目を迎えます。厳しい基準をクリアしたみかんだけが「認定みかん」と名乗ることができます。

今回は、その中でも特に高い評価を受け「プラチナファーマー」の称号を手に入れた生産者の皆さんに、みかんづくりへの思いやこだわりを伺いました。



この景色を未来へ

今の石積み階段園があるのは、地域の方々がみかんを作り続けてきたからこそだと思っています。これからもこの素晴らしい景色を守りながら、皆さんに美味しいみかんを届けたいと思います。



インタビューの様子を動画で！

畑の記録を未来につなぐ

私たちの畑では、全てのデータをクラウド上で管理しています。過去の取組をいつでも確認できるので、経験が浅い社員でも、蓄積されたデータを元に今年の方針を立てられるのが大きな強みです。



株早和果樹園 生産部
いわくら まいこ
岩倉 舞子さん

変わる気候に寄り添うみかん栽培

気候や環境が毎年変わるので、昨年の方法がそのまま今年にも通用するわけではありません。日々試行錯誤しながら取り組んでいます。美味しいみかんができた時に「やってきたことが間違っていないかったんだ」と感じる瞬間が、何よりうれしいです。

みかんに込めた想い

自分にとってはたくさんの中の一つのみかんでも、購入してくれた方にとっては、「はじめての有田みかん」になるかもしれない。だからこそ、摘果や選別を一つひとつ丁寧に、箱に詰めています。皆さんには「信用を買っていただいている」と感じているので、安心して美味しいみかんを味わってほしいです。

笑顔を届けるみかん作り

自分が作ったみかんを「美味しい！」と言ってもらえることが一番うれしいです。「また買いたい」と伝えてくれる方もいて、その一言が本当に励みになります。

守り続ける、地域の財産

みかん山に広がる段々畑は、この地域にとって本当に大切な財産だと感じています。石積みが崩れた時には、親に教わりながら積みなおしてきました。この景色を地域の誇りとして、これからも受け継いでいきたいと思っています。



もっと！
こだわりを見る



やまかつ
山勝 久世
よしひろ
佳典さん



有田・下津地域の
石積み階段園 みかんシステム
世界農業遺産

世界農業遺産に認定！

8月26日、「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定されました。市民にとっては馴染み深いみかん山の風景や技術が、世界的にみて非常に価値のあるものとして評価されました。



有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムの評価ポイント

- 1 何世代にもわたり受け継がれてきた知恵と技術
- 2 品種や収穫時期を分散することで気候リスクに強い生産を実現
- 3 石積み階段園の景観
- 4 排水、保温に優れた独自の農業システム
- 5 剪定、接ぎ木、手作業収穫などの繊細な栽培技術

みかんと共に生きる未来を守る

世界農業遺産認定への道を切り開き、尽力された中心人物の一人、秋竹新吾さんにその思いを語っていただきました。



株式会社早和果樹園
会長
あきたけ しんご
秋竹 新吾さん

地域を守り次世代へつなぐ誇り

歴史ある地域を守り、次世代に誇れるものを残したい。

その思いから、生産者仲間と呼びかけて活動を始めました。世界農業遺産の認定を受け、「みかんとともに生きてきた人生」が評価されたようで、改めて自分たちの歩みが肯定されたように感じています。

未来につなげるために必要なこと

認定はスタートに過ぎません。これからもみかん農業を守り、継承していくためには、維持と進化の両方が大切です。また、「人を育てる」ことが継承の力だと考えています。みかん作りが長年続いてきたのは、人から人へと受け継がれてきたからこそ。これからも地域の皆さんと共に守り、育て、未来へつなげていきたいと思います。



世界農業遺産認定証授与式（イタリア・ローマ）
左から尾崎要二氏※1、森田耕司氏※2、玉木市長
※1 和歌山県議会議員 ※2 有田・下津地域世界農業遺産推進協議会 会長

地域の誇りとして

今回の特集では、世界農業遺産に認定された「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」や、生産者の皆さんのこだわりを紹介しました。40年以上の歴史を刻んできたこのみかん栽培は、これまでの農家さんの知恵と努力の結晶であり、今回世界に認められたことは、私たちにとって、とても誇らしいことです。

これからも、この素晴らしい財産を次世代へ伝えていくために、地域の皆さんとともに支え合いながら歩んでいきたいと思っています。

有田みかん課
ふるさと創生室 TEL 22-3635
TEL 22-3648